消防団協力事業所表示制度

地域防災の要である消防団の活性化には、団員が活動しやすい環境が必要であり、事業所の理解と協力が不可欠です。市では、従業員が消防団に入団している事業所や消防団の活動に配慮している事業所に「消防団協力事業所表示証」を交付しています。

平成26年度は、21事業所に交付しました。消防団活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

問合せ　防災安全課防災係

協力事業所（平成26年10月１日現在、50音順）

アイシン辰栄㈱、愛知県中央信用組合、旭鉄工㈱、石川鋳造㈱、㈱石実メッキ工業所、㈱磯貝製作所、㈱尾崎工務店、㈱オサダツール、小林哲三事務所、㈱サカン元建設、㈾さし又木工所、三和㈱、㈱ジェネックス、敷島製パン㈱刈谷工場、スギ製菓㈱、㈱スズキオート広常、トヨタ車体精工㈱、日新製鋼㈱衣浦製造所、日本郵便㈱碧南郵便局、幡豆工業㈱、㈱ビジネスセンター岬屋、㈱平岩鉄工所、㈱平松木型製作所、㈲ふじもと介護サービス、丸八重整備㈱、㈲マルヒコ土木、森田建築、ライブリーリカーキンバラ、㈲わた甚

協力事業所インタビュー

従業員の方が消防団に入団することは、事業所にとってもさまざまなメリットがあります。今回は事業所の生の声をお聞きするため、消防団協力事業所である㈱磯貝製作所の代表取締役社長である磯貝暢宏様にお話を伺いました。㈱磯貝製作所では、従業員の方が消防団に入団することを勧めているほか、以下の支援を行っています。

・仕事中に出動で社外に出た場合は有給休暇とする
・夜間出動し、翌日の仕事に出られない場合は有給休暇の後出し申請を認める
・消防団入団期間中、月１万円の手当を支給する

■従業員の方に消防団への入団を勧め、支援されるようになったきっかけは何ですか。

支援を始めた目的は主に４つあります。

まず第１に**地域に対する貢献**です。この地域で仕事をさせてもらっているので、地域のために貢献したいという思いがありました。

第２に会社の**防災力の強化**です。防災の重要性を理解した従業員が社内にいることによって、その知識や経験を生かし、いざというときのための備えや日常の防災力を強化できます。被害を最小限にして従業員の安全と生命を守ることができます。

第３に消防団の**規律正しい動作を学び**、社内の規律に生かせる社員になってもらうことです。

第４の目的は、社外の人との交流によって**視野を広げて欲しい**ということです。

■大変手厚い支援をしていただいていますが、支援の内容を決めた経緯を教えてください。

入団を勧めるだけでなく、どういう支援ができるのかを考え、夜間出動後の有給休暇の後出し申請や月１万円の支給など、会社として精一杯のことをと思ってやっています。

■事業所にとって、日ごろの訓練や突然の出動など負担になることもありますね。

確かに負担もありますが、まずは地域への貢献という目的がありますし、防災力の強化という点でメリットが大きいと感じています。

１年に１回防災訓練を行うだけでなく、日ごろから訓練を行い、実際に火事場を経験した人が社内にいるということは強みになります。

経験を生かして社内の危ない場所の指摘もしてもらえば、会社にとって大きなメリットですよね。

■実際に従業員の方が消防団に入って、変わったなという点はありますか。

人にもよりますが、仕事はもちろんすべてに対して積極的になったと感じます。訓練などで時間をとられるわけですが、それには代えられない何かをつかんでいるのだと思います。

■そのほか、日ごろ心がけていることはありますか。

頭で考えるよりも体で覚えるということが大切だと思います。そのために、消防団だけでなく、学校のトイレ清掃や街頭清掃、講演会の開催など、日ごろからさまざまな活動を行っています。

企業にとっては人づくりが非常に重要で、従業員が成長して充実した人生を送ってもらえるようなきっかけを作りたいですね。

従業員の消防団入団にご協力ください

㈱磯貝製作所では、地域への貢献、防災力の強化、従業員の成長を促すきっかけの１つとして、消防団への入団支援を行っていただいています。従業員の入団は事業所にとってもメリットがあります。是非ご協力をお願いします。